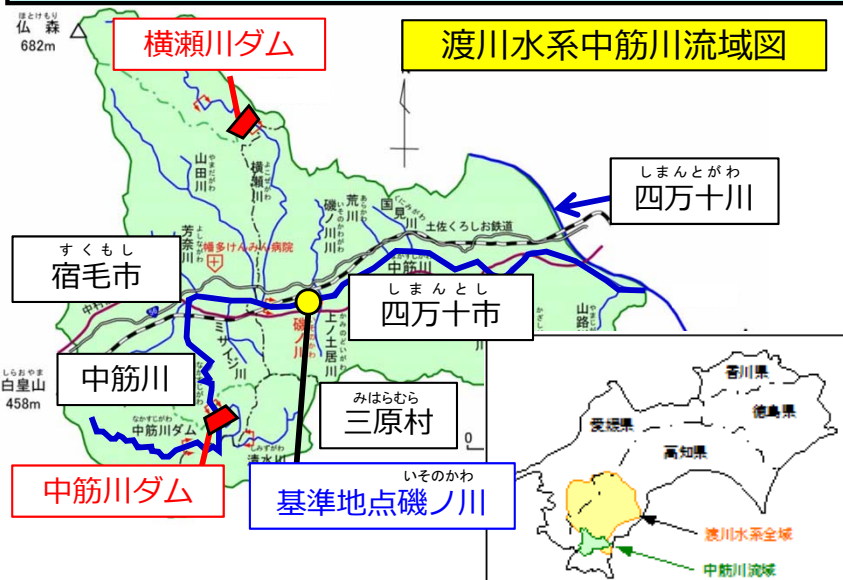


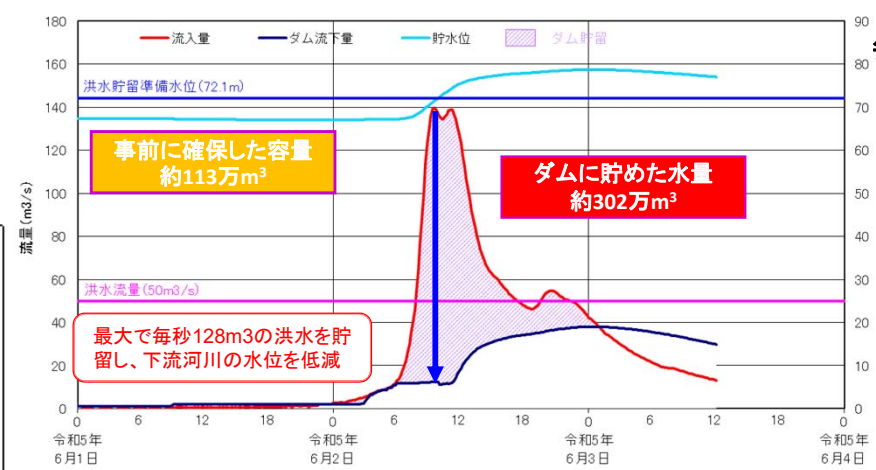
中筋川ダムと横瀬川ダムの効果(高知県・渡川水系中筋川)

- 令和5年6月2日からの降雨は、中筋川ダム上流域で累計370mm^{※1}、横瀬川ダム上流域で累計272mm^{※2}の降雨を観測。
- 中筋川ダム、横瀬川ダムでは2ダムで洪水貯留容量と事前に確保されていた貯水容量と合わせ、約1,410万m³の容量を確保。
- 中筋川ダムでは最大流入量の約91%をダムで貯留し、横瀬川ダムでは最大流入量の約98%をダムで貯留。
- 2ダムの洪水調節により、磯ノ川地点で約0.9m水位を低減させ、避難判断水位超過を回避させたと推定。

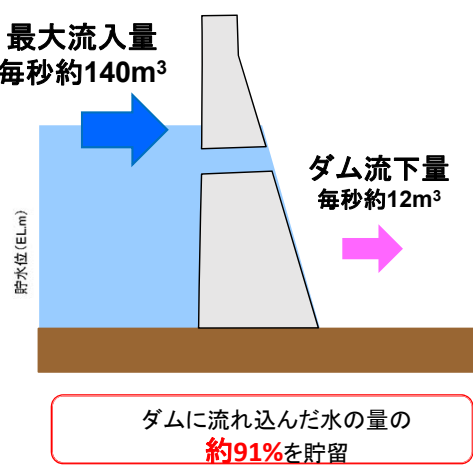
※1:6月1日14時~2日23時(時間最大約62mm・2日8時)、※2:6月1日15時~2日22時(時間最大約35mm・2日8時)



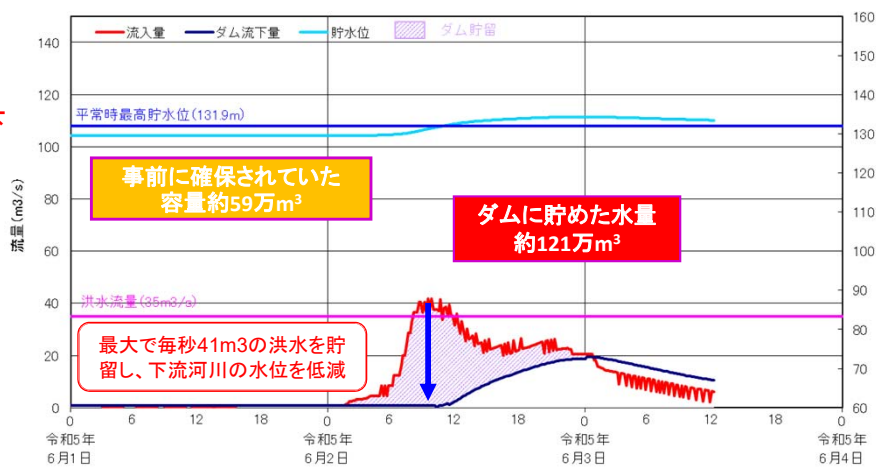
中筋川ダムの洪水貯留状況



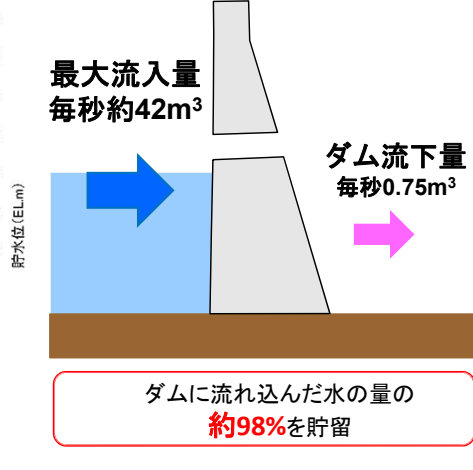
最大流入時の中筋川ダム



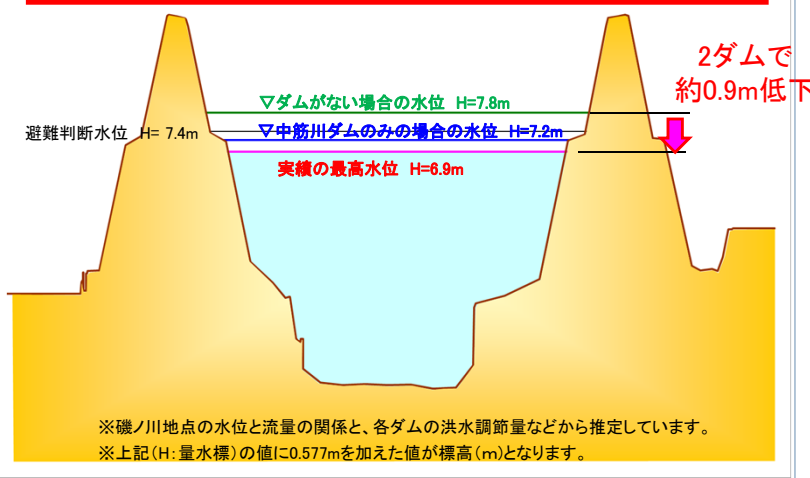
横瀬川ダムの洪水貯留状況



最大流入時の横瀬川ダム



中筋川ダム・横瀬川ダム2ダムにより 磯ノ川地点の水位を約0.9m低下し避難判断水位超過を回避



※本資料の数値等は速報値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

ダムの貯留状況

中筋川ダム



貯留前 EL=72.1m (6月1日)



今回洪水による貯留量
約302万m³

貯留後 最高貯水位EL=78.71m (6月3日0時40分)

横瀬川ダム



貯留前 EL=129.48m (6月1日)



今回洪水による貯留量
約121万m³

貯留後 最高貯水位EL=134.30m (6月3日0時30分)